

2008年 年頭のあいさつ



大玉村長 浅 和 定 次

新年明けましておめでとうございます。

謹んで輝かしい新春の幕開けと、村民の皆様のご健勝・ご多幸を心からお慶び申し上げます。

また、皆様方には日頃より村政運営の各般にわたり、温かいご理解と絶大なるご支援・協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、「自立の道」を選択して3年を経過する中で、新たな村づくりの指針となる『大玉村自治基本条例』を策定し、スタートさせました。

本条例は、自治に関する基本理念・基本施策などを定めたもので、自分たちのむら（地域社会）をどのように築いていくか、地域を構成するメンバーが、互いに守っていく基本ルールを文章化したものです。

例えば、学校や会社には規則が、社会には道徳や社会規範、そして法律があるように、それぞれの社会を円滑に動かし発展させていくためには、互いに守るべきルールが存在します。つまり、地域の課題は地域で解決していくことを原則に、自治の主役である村民の皆さんの権利と義務、そして村及び議会の責務と役割を明らかにして、参加と協働を柱に、大玉村という単位で物事を考えたり、決めたりする場合の理念・仕組みを定めたものであることから、別名「自治体の憲法」とも言われております。

この自治基本条例をしっかりと浸透させながら、村民皆様のご期待と付託に答えるべく決意を新たにしている所であります。

昨年を振り返ってみますと、安倍首相の突然の退陣を受けて誕生した福田内閣も、参議院での与野党逆転のねじれ現象から難しい政治局面が続いております。また、食品メーカー大手、老舗による偽装表示が相次いで発覚するなど、食品・食材に対する安全・安心が根底から脅かされ大きな社会問題に発展しております。

そして、年末恒例の世相を表す漢字には「偽」が選ばれるなど、まことに混沌とした時代を象徴する出来事が多い年でもありました。

さらには、様々な格差問題がクローズアップされ、特に中山間地域では過疎化などから、集落内の共同機能が維持できなくなっている現象を捉えて、「限界集落」との言葉も頻繁に聞かれるようになりました。

本来、農山村の持っている多面的・公益的な価値が、わが国の国土並びに国民の存続を支えてきました。しかしながら今日の農山村の疲弊化は想像以上に進行しており、やがては、日本全体の危機を招くことになりかねない憂慮すべき事態になりつつあります。

私は、このような農山村の実情を踏まえ、農林漁業の振興を基軸とした国家づくりのための積極的な政策展開を提唱すべく、県内の各町村長に呼びかけ、去る12月3日、「福島県農山漁村地域振興協議会」を設立し、初代会長に就任いたしました。現在47町村中29町村の加入状況ですが、新年度には35町村程度で新たな行動を展開する予定であります。

今後は、地方6団体等の組織行動と並行しながら、一步突っ込んだ独自の視点に立った本協議会の活動を通して地方の実情を訴え、今日の農山漁村の課題解決と局面打開に向けて取り組み、同時に、本活動を大玉村の地域振興の活性化施策に連動させてまいり所存であります。

今年には村政執行4期目の三年次にあたります。

改めて、本村村政を与かる一人として、その職責の重さを再認識しているところであります。これまで私は、就任以来5つの基本政策を掲げ、具体的な施策を通して「住民が生き生き、自然が輝く村づくり」の実現を目指してまいりました。そして、より具体的な各種施策の展開と個性豊かな関連事業を着実に進めながら、常に行財政の健全運営に心掛け、住民の視点にたった安心・安全の確保に意を注ぎ取り組んでまいりました。

その結果、財政上の数値も健全に推移し、広報11月号「村の財政力」でお示したとおり、堅実な財政力を保っておりますのでご安心ください。これ偏に多くの皆様のご支援、ご支持の賜物でありまして、重ねて衷心より感謝申し上げます。特に、最重点施策と位置づけました定住人口の増加対策については、平成16年に官民一体のネットワークを立ち上げ、民間は新たな住宅団地や集合住宅等の開発計画を、村は生活環境面のインフラ整備等の誘導施策を担い、相互にその役割を分担しながら、

積極的に取り組んでまいりました。

お陰様で、この四年間における新規定住者の建築確認申請件数は、一戸建て個人住宅56棟、集合住宅8棟・40戸分の実績を数えており、順調に人口の定着化が図られ施策的にも十分にその効果が発揮されているものと感じております。

本年も引き続き「住民が主役」の民主主義を根幹とした、住民自治確立のための村政執行に意を注ぎ、村民の皆様と力を合わせ協働の村づくりに全力で取り組んでまいります。

自治体を取り巻く環境の厳しい状況に変わりはありませんが、今後とも更なる創意工夫を重ね、職員ともども一丸となって自治体経営にあたる所存であります。

どうか本年も相変わらぬご支援、ご協力を賜りますよう心からお願い申し上げますと共に、皆様の益々のご健勝と、ご多幸をお祈り申し上げ、新年のごあいさつといたします。